

年に1回は、 腎臓の検査を 受けましょう

腎臓の検査を 受ける理由

監修

久留米大学医学部内科学講座
腎臓内科部門 主任教授

深水 圭 先生



高血圧や糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病は、腎機能の低下を加速し慢性腎臓病（CKD）の発症リスクを高める可能性がある。



早期のCKDは、自覚症状がほとんどなく気づきにくい。日本の20歳以上の方でCKD患者は2,000万人いると推計されており、約5人に1人がCKDであると言われている¹⁾。

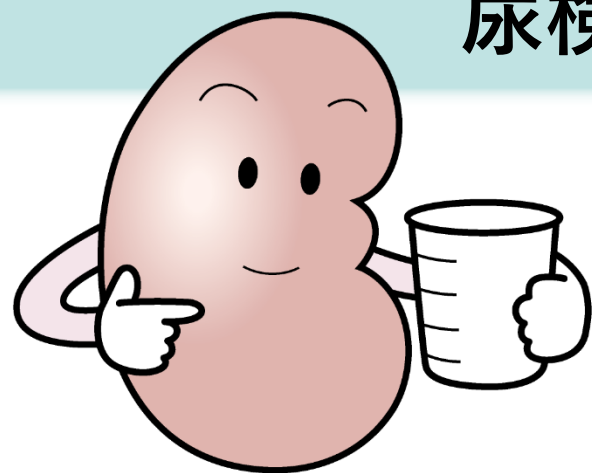


CKDが進行して末期腎不全になってしまった場合には、透析療法や腎臓移植などが必要になる。

腎臓の検査

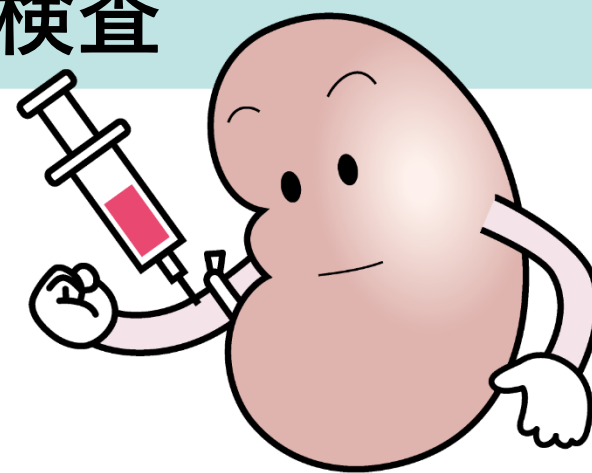
1) 日本腎臓学会 CKD診療ガイド2024

尿検査



尿蛋白、
尿アルブミン
など

血液検査



クレアチニン、
eGFR
など



CKDを早期に発見し、進行を防ぐことが大切です

ポスターを
見たのですが、
腎臓の検査を
受けられますか？



検査について気になることは、医師、看護師へご相談ください

慢性腎臓病の予防に役立つ情報を、
群馬県公式YouTubeチャンネル”*tsulunos*”で公開中



制作・協力：群馬県慢性腎臓病対策推進協議会

元気県ぐんま マスコットキャラクター
「GENKI(げんき)」



群馬県



Boehringer
Ingelheim

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社は「ぐんま食育応援企業」として、生活習慣病予防対策に取り組んでいます

2024年12月作成

